

# 裁判員裁判と報道

## 兵庫県弁護士会 憲法市民集会

昨年5月より、裁判員制度がスタートしました。

「もしわたしが裁判員に選ばれたら、どうなるのだろうか?」と思っておられる方も多いのではないのでしょうか。

今年度の憲法市民集会は、「裁判員裁判と報道」をテーマに、裁判員の守秘義務や裁判員裁判対象事件のマスコミ報道の在り方などについて、市民の皆様と一緒に考えてみたいと思います。

### プログラム

- 第1部 基調報告(当会憲法問題委員会)
- 第2部 作文「みんなで憲法を考えよう」優秀作品発表・表彰式
- 第3部 憲法について考えるコント「ザ・ニューズペーパー番外編」
- 第4部 パネルディスカッション「裁判員裁判と報道」



とき **2010年2月20日(土)** 午後1時～4時30分ごろ

ところ **兵庫県弁護士会(本館)4階講堂**  
〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3  
JR「神戸」駅から徒歩7～8分  
神戸高速鉄道「高速神戸」駅から徒歩7～8分  
神戸市営地下鉄「大倉山」駅から徒歩5～6分

参加無料  
予約不要

主催・お問い合わせ先

## 兵庫県弁護士会

- 電話 078-341-7061(代)
  - 兵庫県弁護士会ホームページ <http://www.hyogoben.or.jp/>
- 後援:日本弁護士連合会

会場へは公共交通機関をご利用ください





## 「ザ・ニューズペーパー番外編」

政治家の形態模写を中心とした政治コントで人気急上昇中の社会風刺コント集団「ザ・ニューズペーパー」より、山本天心さん、浜田太一さんのお二人をお呼びし、裁判員裁判の話題も織り交ぜながら、辛口のコントを披露していただきます。



山本天心

浜田太一

(ザ・ニューズペーパー)

## パネリストのご紹介

あさ の けん いち  
浅野 健一 氏

1948年香川県高松市生まれ。  
1972年、慶應義塾大学経済学部卒業、共同通信社入社、本社社会部記者、ジャカルタ支局長などを歴任。1994年、共同通信社を退社し、同志社大学教授。2002年から03年、英ウエストミンスター大学客員研究員。現在、同志社大学院社会学研究科メディア学専攻博士課程教授。人権と報道連絡会世話人。

■主な著書『犯罪報道は変えられる』（日本評論社）、『犯罪報道と警察』（三一新書）、『客観報道・隠されるニュースソース』（筑摩書房）、『メディア・ファシズムの時代』（明石書店）、『メディア凶乱』（社会評論社）、『「報道加害」の現場を歩く』（社会評論社）、『戦争報道の犯罪 大本営発表化するメディア』（社会評論社）、『裁判員と「犯罪報道の犯罪」』（昭和堂）など多数。

こ やま まさる  
小山 優 氏

1967年生まれ 1991年神戸新聞社入社  
兵庫県警担当として、神戸連続児童殺傷事件や新神戸山口組幹部射殺事件などを取材。他に兵庫県

や神戸市などを担当。2007年から社会部事件・司法担当デスク。現在に至る。

あさ もと ゆき お  
朝本 行夫 弁護士

兵庫県弁護士会裁判員本部副本部長

なか やま まさ お  
中山 雅生 氏

模擬裁判 裁判員経験者